

農場長より

本年度は喜多方市で実施している東大サテライト事業の一環で本校生徒を対象に「青いバラ」の講演会も実施されるなど、地域にある農業高校としての存在感も一段と高まってきた年であったと思われます。山都町、喜多方市、会津若松市などで行われている、地域起こしのイベントにも学校生産物を展示即売会など、積極的に参加し生徒たちの活動をアピールしてきました。生徒たちも休日にかかわらず、意欲的に取り組んでくれた年であったと思います。

農業クラブ等で生徒の活躍が大変目立った年であったと思います。県大会で多くの入賞者を出し、昨年に引き続いて全国大会にも参加しました。今年も引き続き優秀な成績を残せるよう、農場全体が活気ある指導で生徒へはいろいろな面での喚起をしていきたいと準備をしている次第です。

農場生産計画でも計画を上回る生産額で終了することができました。各部門とも年間を通してきめ細かな栽培管理・飼養管理の大切さを実習の中で生徒に教えることができたのではないかと思います。

作物部門

課題研究において、3年生は2年生からの継続研究で《水稻の生育比較試験》を実施してきました。今年度は移植時期の違いによる生育への影響について調査しました。移植が遅い場合の終了への影響を実証できました。こうした研究は、肥料袋を活用した特性のポットを展示して、調査研究を続けました。発表においても、しっかりまとめ実施できました。

また、2年生は《イネの紙マルチ栽培に関する研究》について発表しました。内容については、千咲農場1号田にて紙マルチを張り、慣行区との生育・収量の比較調査と雑草の発生状況調査をしました。その結果、研究内容を校内研究発表大会で高い評価をして頂き優秀賞を貰うことが出来ました。

次に、全生徒で行った『全校田植え』など、年間を通じて広大な千咲農場を、力を合わせて管理した結果、無事収穫を迎えることができました。大変、実りの多い年でありました。

しかし、今後取り組まなければならない課題もいくつか見られました。1・2年生には、このような課題を含めいろいろな研究に取り組めるよう指導していきたいと思います。



畜産部門

さる、2月19日に本校のメス牛を利用して『受精卵移植技術』を体験しました。当日は学年末試験のため、生徒は採卵の様子を見学することはできませんでしたが、採卵した受精卵を顕微鏡で観察することができました。受精卵は、残念ながら1個しか採れなかったため、すぐに繁殖素牛に移植しました。順調であれば、11月22日に出産予定です。

なお、この技術は、県内の農業高校では導入していないため、大変貴重な体験をしました。次に、プロジェクト学習は、1月23日に校内研究発表大会があり、2年生が発表した《肥育牛の調査ををこころみて》が最優秀賞となりました。



採卵の様子



受精卵の状態を観察

野菜部門

今年度の野菜部門は、天候にとっても恵まれ、野菜もよく生育してくれました。そのおかげで、生徒の実習も充実した内容になりました。販売実習の際には、みなさんに沢山野菜を買って頂き、ありがとうございました。また、来年度も「安全で美味しい野菜」をお届けできるよう実習に励んでいきたいと思ひます。

2月下旬から来年度の野菜のたねまきを始めました。また、5月上旬から野菜苗の販売を行いますので、購入をご希望される保護者の方は、生徒を通して注文頂くか学校まで連絡下さい。なお、保護者懇談会で販売できるよう生徒と一緒に準備を進めていきたいと思ひます。



草花部門

本校の草花部門は、花壇用の草花類（パンジー・マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ペゴニアセンパフローレンス）と鉢もの類（球根ペゴニア・カンナ・グロキシニア・キク・ミニシクラメン・シクラメン・プリムラ類・シネリリア・カルセオリアなど）の栽培を中心に取り組んでいます。

モットーは、《安全・安価で高品質の草花を地域に提供する！》その判定は、生徒が販売実習に出て消費者の皆様へ愛されることです。それは、販売実習を終えて黄色い手かごを振りながら帰ってくる生徒の姿にあります。

卒業を祝うかのように、本校温室は写真のようにプリムラ類・シネリリア・カルセオリア・ペゴニアセンパフローレンス・パンジーが咲き乱れております。本校の卒業式を皮切りに喜多方市内の小・中学校の卒業式も彩ることになります。



農業クラブより

さる、1月23日に『校内研究発表大会』がありました。これは、授業の科目『課題研究』で、2・3年生が作物・畜産・草花・野菜の4部門を専攻し、研究テーマに沿って1年間調査・研究したデータをパソコンでまとめたものを発表する場です。また、1年生は科目『農業科学基礎』でまとめたものの中から、代表を1題選んで発表に臨みました。

発表には、2年生4題・3年生4題、それに1年生1題の計9題の発表があり、結果は以下のとおりとなりました。

なお、最優秀賞となった2年生畜産班の発表は、来年度、相馬農業高校で行われる県学校農業クラブ主催の意見・研究発表県大会へ本校代表として出場することになります。



	研究テーマ	発表者
最優秀賞	肥育牛の生育調査をこころみて	2-1 福田 将太 他2名
優秀賞	エゴマの生育調査	2-1 大月 秀樹 他3名
優秀賞	紙マルチ使用区と除草剤使用区の比較試験	2-1 田崎 太陽 他4名
優秀賞	ミニトマトの生育調査～ハウス栽培と露地栽培の比較～	3-1 花積 功一郎 他2名